

園長 だより

No. 11

「成功体験」

園長 小林 淳一

今年の夏も暑かったですね。リオオリンピックも熱く燃えて日本の選手が大活躍しました。

7月に行われた「盆踊り・夏まつり」では、父母の会・保護者・大鳥小学校金管バンド・千代崎4囃子連等、ご協力ありがとうございました。子どもたちにとって思い出に残るものになりました。

8月には、夏期保育にたくさん子どもたちが集ってくれました。また、今年度から始めた卒園生(1・2年生)を対象にした「寺子屋塾」も参加した子どもたちは、「楽しかった」「夏休みの作品ができた」と喜んでいました。

○ペリー就学前教育

アメリカで50年間行われた教育実験。就学前の教育が未来の生活にどのように影響してくるかというものです。経済効果、どのように、どこに予算をつけていくか。そういった面からも注目されています。ペリー就学前教育実験では、毎日2時間程度先生と勉強する。そして、先生が子どものために家まで訪れ、勉強を教えてくださいています。ここで考えてほしいのは、この勉強は特殊な(高度な)内容をやってはいません。先生は、ただ子供にあった問題を一緒に考えてくれていたという程度だといいます。つまり、「どのようなことをやるか」はさほど重要ではなく、そこに大人と一緒に過ごし、一緒に考え、そして大人に認めてもらえるという「成功体験を積んだこと」が重要なのだということです。幼稚園教育は、まさにこの就学前教育を行っています。幼児教育に必要なもの、それは「大人との時間」&「褒めてもらう体験」こそが、キーワードだと考えています。今学期もご支援ご協力よろしく願いいたします。

